

北広島環境市民の会ニュース

2021 年 6 月 29 日発行（通算第 67 号）代表・藤野伸之 問い合わせ電話 011・375・6154（伊東）



事務所 稲穂町に移転



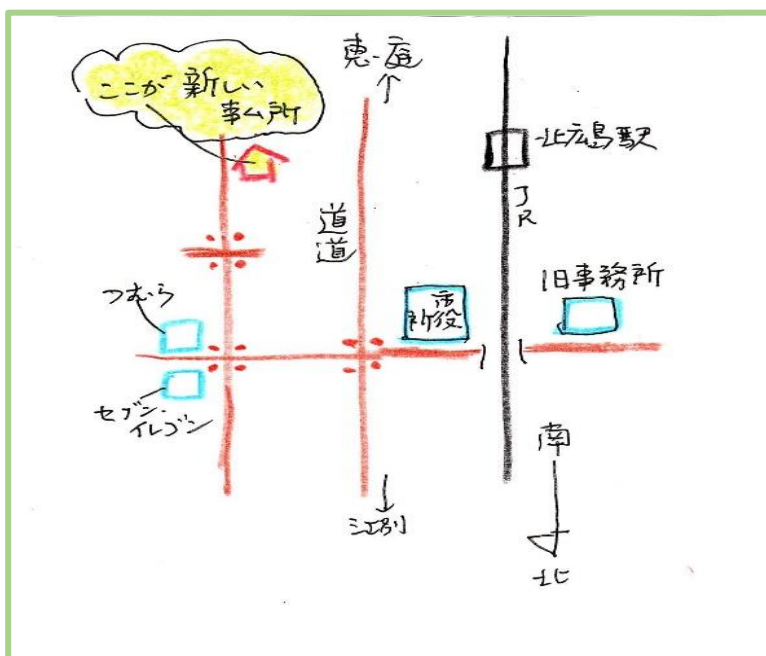
2014 年から 7 年近くの間、借りていた市役所そばの事務所が家主さんの都合で取り壊されることになり、稲穂町に移転しました。

新しい住所は、稲穂町西 2 丁目1の1。1 階のワンフロアを新婦人の会北広島支部、山本博巳行政書士事務所と共有します。

古着古布を元に製作した小物類の展示とミニ講座の開催やリサイクルの相談などを行います。

敷地面積が限られる中、玄関横に小さな畑を設けてトマトの苗 8 本ほどを植えています。

開所日を変更してこれからは毎週火曜日の午前 10 時から午後 3 時までとします。



生ごみたい肥づくり講習会

6 月 25、26 日の 2 日間、広葉交流センター「いこーよ」で生ごみたい肥作り講習会を開きました。

たい肥作りのポイントは、生ごみから出る水蒸気を外に逃すことと、生ごみと土をかき混ぜて空気を取り入れること。

堆肥盤で実演を披露しながら失敗を防ぐための注意点を説明しました＝左の写真参照。

2 日間で会員を含め 15 人が参加しました。

次回の幹事会 7 月 25 日(日)午後 2 時から事務所で。会員の皆さんぜひご参加を



たい肥ですくすく 3つの農園

北広島環境市民の会が手掛けている東共栄と「いこーよ」の農園、そして会員たちが個人的に耕作している通称「三木農園」で、作物が順調に育っています。生ごみなどで作ったたい肥をふんだんに取り入れ、地力が増しています。

☆東共栄

東共栄の「エコ農園」（左上の写真）は今年で11年目を迎え、会員や近所の人たちが毎週月曜日に集まって草取りなどの作業をしています。約100坪の土地にニンニクと玉ネギ、トマト、枝豆、薩摩芋、ビーツ、アピオスを作付けしています。

☆いこーよ

いこーよでは、施設のボランティア団体「いこーよ友の会」に加わって中庭に約90坪と20坪の畑を設けています。

当会代表の藤野伸之さんがガレキの撤去作業に勤しみ、たい肥を投入して土づくりに取り組みました。

「食べるインスリン」として注目されている菊芋やお菓子のどんに適した「八列トウキビ」、馬鈴薯、インゲン、玉ネギ、ビーツ、薩摩芋、トマトを栽培しています。左中央の写真がいこーよの畑です。

☆三木農園

左の写真は竹山温泉に向かう途中にある通称「三木農園」です。道路を挟んで北海道リハビリセンターの向い側に位置しています。ここは当会が会としては関わっていませんが、会員の増田譲さんを中心に複数の会員が作業をしています。面積が約200坪あり、「世界三大健康野菜」と言われている「ヤーコン」「菊芋」「アピオス」や調理用トマト、ビーツ、枝豆、長ネギ、玉ネギ、長芋、薩摩芋、馬鈴薯を栽培しています。



刈り草を堆肥に パークゴルフ場や空き地で刈り取られた雑草を運び込んで東共栄で堆肥にしています。（左と下の写真。シートを被せて熟成を促しています）

